【公報種別】特許法第１７条の２の規定による補正の掲載
【部門区分】第２部門第１区分
【発行日】平成18年3月16日(2006.3.16)

【公開番号】特開2004-230292(P2004-230292A)
【公開日】平成16年8月19日(2004.8.19)
【年通号数】公開・登録公報2004-032
【出願番号】特願2003-22141(P2003-22141)
【国際特許分類】
Ｃ０２Ｆ　11/00　(2006.01)
Ｃ０２Ｆ　11/14　(2006.01)
【ＦＩ】
Ｃ０２Ｆ　11/00　Ｆ
Ｃ０２Ｆ　11/14　Ｄ

【手続補正書】
【提出日】平成18年1月27日(2006.1.27)
【手続補正１】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】特許請求の範囲
【補正方法】変更
【補正の内容】
【特許請求の範囲】
【請求項１】　汚泥スラリーに亜硝酸塩を添加した後、高分子凝集剤を添加混合し、次いで機械脱水する方法において、脱水ろ液中の残留亜硝酸イオン濃度を１～２０ｍｇ／リットルの範囲に調整することを特徴とする脱水ケーキの臭気発生防止方法。
【請求項２】　汚泥スラリーに亜硝酸塩を添加して臭気の発生を防止する方法であって、亜硝酸塩の添加量を下記式（１）の範囲内とすることを特徴とする臭気発生防止方法。
０．１＜｛亜硝酸イオン添加量（ｍｇ／リットル）／汚泥スラリー中の硫化物量（ｍｇ／リットル）｝＜１０　・・・（１）
【請求項３】　酸化剤、亜硝酸塩を除く金属塩、有機系殺菌剤がさらに添加されることを特徴とする請求項１又は請求項２記載の臭気発生防止方法。
【手続補正２】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】００１０
【補正方法】変更
【補正の内容】
【００１０】
【課題を解決するための手段】
そこで、本発明者等は、上記の亜硝酸塩を用いた臭気発生防止方法の問題点を解決するべく鋭意検討した結果、汚泥スラリーに亜硝酸塩（Ａ）、及びチアゾール系化合物又はイソチアゾール系化合物から選ばれる少なくとも１種の化合物（Ｄ）を添加することにより、硫化水素の発生を長期間防止することができることを見出した。